



リンゴの木が教えてくれたこと ～上農は土をつくる～

校長 青木 久永

花々が季節の移ろいに彩りを添えています。幸手市の権現堂堤では、秋の風物詩である曼珠沙華まつりが開催され、約300万本の曼珠沙華(彼岸花の別名)の赤い絨毯が訪れた人たちの目を楽しませていました。

ところで、秋の風物詩と言え、何を思い浮かべますか。紅葉、焼き芋、さんま、ハロウィン、梨、栗ごはん、金木犀、柿、ぶどう、十五夜、松茸、コスモス、新米、どんぐり、きのこの炊き込みごはん、彼岸花、ススキ、稲刈り、運動会、お彼岸、银杏、文化祭、赤とんぼ、文化の日、七五三など、行事や食べ物が満載です。

読書の秋、スポーツの秋、芸術の秋。秋は勉強や運動に適した季節です。今日も子供たちの元気で楽しそうな笑い声が校舎内外に響いています。食欲の秋でもあり、みんな給食が大好きです。

この時季には、リンゴがお店に並びます。リンゴを見ると、『奇跡のリンゴ』という本を思い出します。著者の木村秋則さんは1949年、青森県弘前市生まれ。世界で初めて無農薬・無肥料のリンゴ栽培に成功した人です。22歳でリンゴ農家の養子になります。散布する農薬で妻が体調を崩したことをきっかけに、無農薬のリンゴ栽培に挑戦しますが、試行錯誤の無収穫・無収入時代が続きます。約10年後、ついに完全無農薬・無肥料のリンゴ栽培に成功しました。このリンゴは「奇跡のリンゴ」と称賛され、『奇跡のリンゴ 絶対不可能を覆した農家 木村秋則の記録(幻冬舎, 2011年)』はベストセラーになりました。この本の概要は、次のとおりです。

木村さんの農法には、周囲からの強い反対がありました。無農薬を始めて6年目には生活が困窮し、町で一番貧しい家と名指しされ、親戚からの冠婚葬祭の連絡も途絶えます。「まわりの人には何も恨みはない。俺が常識外れのことをしてしまったからこうなったんだ。家族・親戚に申し訳ない。」ある夜、死に場所を求めてロープを手に山中を歩いていた木村さんの目に、月光に浮かび上がるリンゴの木が映ります。人の手が入らなくなって久しいその見捨てられた畑には、肩の高さまで草が生い茂っています。草をかき分けて進むと、かぐわしい土の匂いが鼻をくすぐり、足元はふかふかで、まるでクッションを踏みしめているようでした。農薬の散布をしてないのに、虫の被害は皆無で、力強く枝を張り、葉を茂らせていたのです。

翌日行ってみると、その木は、リンゴではなく、自然に実から芽を出し生長したドングリの木だったのです。「これが答えだ！」草は生え放題ながら、その中であって健康そのもの、元気一杯なドングリの木。農薬も肥料もなく、人の手が一切入っていない環境でも立派に育っています。虫たちが活動し、生命があふれ、全てが循環していて、何一つ無意味なものはない。生態系の一部として、ドングリの木も生かされている。人間に管理されたリンゴ畑とは全く異なる光景ですが、これこそが木村さんが求めてきた答えでした。「自分は枝や葉など目に見えるところばかりに気を取られ、肝心の根っこや土のことをすっかり忘れていた。」その夜以降、木村さんは雑草を刈るのをやめました。そして迎えた9年目。リンゴ畑の土は、あのドングリの山と同じようなふかふかの柔らかさをたたえていました。ある日、隣の畑の生産者が、「おい、花が咲いているぞ！」と教えてくれました。長い間、病気と虫にさいなまれ、沈黙を続けていたリンゴの木が、やっと応えてくれたのです。一面に咲き乱れるリンゴの白い花を見て、木村さんと妻は、ととめどなく涙を流して立ち尽くしていたのです。

さて、どうだったでしょうか。私は農業の専門家ではなく、無農薬・無肥料を推奨しているわけでもありません。今、校長という立場で考えてみると、この実話は示唆に富んでいて、学校改善に応用できる内容が数多く含まれていることに驚かされます。例えば、これまでの学校の常識を疑い、打ち破ること。子供たちのために、信念と勇気をもって新しいことに挑戦すること。たとえ反対されたとしても、最後まで絶対に諦めないこと…。

この本の中で、リンゴの木は児童、土は家庭・地域と読み替えることができます。それでは、それまで当たり前に使われてきた農薬や肥料は何でしょうか。私たち大人が、子供に対し、良かれと思ってあれこれやってしまっている余計なこと、ということになるでしょうか。具体的に何を指すかは、人それぞれだと思います。

教育者の東井義雄[とういよしお](1912～1991)は、著書『村を育てる学力』の中で、「下農は雑草をつくり中農は作物をつくり 上農は土をつくる」と述べています。下農は、田畑に雑草を生やしてしまいます。中農は、よい作物をつくり収益を上げることに努力します。上農は、目先の収穫よりも、土壌を豊かにすることに力を注ぎます。そうすることで、必然的に豊かな作物が実ることにもなります。木村さんの発想もこれと同じです。

「上農は土をつくる」とは、教育に通じるものがあります。無限の可能性を秘めた子供たちが、変化の激しい時代をたくましく生き抜いていくためには、根っこの部分を大切に育てなければなりません。根っこは、目には見えませんが重要な役割を果たしています。様々な困難を乗り越えていけるかどうかは、その子の心の根がどれくらい太くて強い吸収力があるかによります。教育においては、見えない学力、つまり、子供たちの学びに向かう意欲や態度をどのように育てていくのか。さらには、「自分は価値ある存在」だと信じる自己肯定感を育むことが、教育での土づくりということになります。しかしながら、自己肯定感は一朝一夕に育つものではありません。学校・家庭・地域が欠かせない存在であり、大人の支えが重要になります。根っこが大地にしっかり根を張り、太く幹が生長し、葉が生い茂れるよう、私たち大人が土づくりのできる上農になることが大切です。

令和5年度も10月からいよいよ後半です。読書は、生きていく上で様々な知識や感動を与えてくれます。秋の夜長、虫たちの声を聞きながら、どんな本を読みますか。

【6年生が修学旅行に行ってきました。】

9月20日(水)、21日(木)の1泊2日で、6年生が鎌倉、箱根方面への修学旅行に行きました。1日目は鎌倉での茶道体験及び班別行動を予定通り実施できましたが、2日目の箱根での活動は、悪天候により予定変更を余儀なくされました。2日間の修学旅行を通して、思い通りにならない中でも、考えられる最善の策を考え、協力して実行していくことの大切さも学ぶことができました。6年生が修学旅行に行っている間は、5年生が最高学年として、旗揚げや委員会の仕事等を進んで行ってくれました。



【双葉南・北小との交流会を行いました。】

9月22日(金)に福島県双葉町立双葉南・北小学校5、6年生が、東京での修学旅行帰りに本校を訪問しました。種足小学校への訪問は、令和元年10月以来2回目です。

当日は、たねっと班に分かれてレクを楽しむなど交流を深めました。令和6年度には、現4年生が臨海学校での交流を予定しています。

なお、交流会の様子は、テレビや新聞等でも紹介されました。本校のホームページでも紹介しています。ぜひ御覧ください。



「彩の国教育週間」の取組について

埼玉県では11月1日を「彩の国教育の日」とし、1日～7日を教育週間としています。本校では、以下の日程で、保護者、児童の祖父母、学校応援団の皆様向けに、たねっとフェスティバル及び授業の公開を行います。

日時：令和5年11月2日(木)

2～5校時を公開

9:15～11:40 たねっとフェスティバル

11:50～12:35 給食

12:40～13:15 ロング休み(フェスティバルの片付けを含む)

13:20～14:05 5校時(授業公開)

14:25 一斉下校

14:20～ 新3役選出の話合い※

※現2～4年生の保護者の皆様は、体育館で新3役候補者選出があります。話合いが終了次第、解散となります。お子さんと一緒に下校する場合、児童の待機場所は図工室とします。



10月の主な行事予定

日	曜	行 事 等
1	日	種足スポーツフェスティバル
2	月	就学時健康診断、B日課4時間授業
3	火	2年図書館見学 陸上練習(放課後)～16日 校内郷土美術展作品公開 15:30～16:30
4	水	1年防犯ミニ講座 校内郷土美術展作品公開 15:30～16:30
5	木	ブックトーク(1,2年)給食費等口座引落し1回目
6	金	読み聞かせ(1年)ブックトーク(3,4年)
7	土	第2回PTA資源回収
8	日	PTA資源回収予備日
9	月	スポーツの日
10	火	
11	水	
12	木	4年サイエンススクールブックトーク(5,6年)スクールカウンセラー来校 13:30
13	金	1,2年遠足 読み聞かせ(ひまわり)
14	土	
15	日	
16	月	陸上大会壮行会 委員会 教育相談日 給食費等口座引落し2回目 ※PTA あいさつウィーク ～10月20日(金)
17	火	6年加須市陸上競技会
18	水	3,5年歯みがき指導5,6校時
19	木	3,4年サッカー教室3,4校時
20	金	ふれあいデー
21	土	騎西南幼稚園運動会
22	日	
23	月	
24	火	加須市陸上競技会予備日 4年水の学習
25	水	5年社会科見学
26	木	
27	金	読み聞かせ(5年)
28	土	
29	日	
30	月	4年加須市内小中学校音楽会 職員会議
31	火	1,2年フッ素塗布

11月の主な行事予定

- 2日(木)学校公開日 たねっとフェスティバル
- 7日(火)5年脊柱側彎症検診
- 9日(木)市内一斉防災訓練
- 10日(金)第2回歯科健診
- 16日(木)校内持久走大会(騎西南幼稚園と合同)
- 17日(金)校内持久走大会予備日
- 21日(火)第2回学校評議員会
- 30日(木)2学期末 PTA(学習参観、懇談会)5時間授業 一斉下校

10月は衣替え

10月は衣替えの時期です。寒暖の差が大きくなりますので、気温や体調に合わせた服装での生活を願います。また、登校は通常のランドセルに戻ります。

